

高山市長選挙

投票率は70・35%

8月22日に告示された高山市長選挙は、いづれも無所属新人で中田清介氏(62)、國島芳明氏(60)、荒井信一氏(60)の3人が立候補し、29日に行われた開票の結果、國島芳明氏が初当選しました。

投票日当日の有権者数は75195人で、投票者数は52899人、投票率は70・35%で、前々回の市長選挙を約15%上回りました。

投票開票から一夜明けた30日、市役所で当選証書付与式が行われ、小森丈一選挙管理

委員長から当選証書が國島芳明氏に付与されました。

問合先
選挙管理委員会
35-3133

新市長初登庁で訓示

國島新市長は初登庁した9月6日、職員に対し「新しい高山市を創るため、職員と手を取り合い頑張りたい」と述べ、「市民が主人公の市政、市民が希望を持てる市政を目指す。また古い組織論から脱却し、上司に気兼ねすることなく、自由な発想とチャレンジ精神で職務に取り組んでほしい」と訓示しました。

●高山市長選挙の結果

氏名	得票数	当選
中田清介	8,388	
國島芳明	26,134	○
荒井信一	17,891	



職員を前に訓示する國島新市長(市役所)

4期16年、おつかれさまでした 土野市長が退任



退任式で職員から拍手で見送られる土野前市長(市役所)

4期16年間、高山市長を務めた土野守氏が9月3日、退任しました。

在任中の印象に残った取り組みとして市町村合併(平成

17年)、台風23号被害(平成16年)、バリアフリーや子育て支援、行財政改革などを挙げ、なにより「ふるさとの市長として地域の発展に力を

尽くせたことが最大の喜び」と述べ、「16年間病気もせず市長を務めることができ、本当にありがたかった」と、最後のあいさつをしました。



市議会定例会で任期を振り返る土野前市長

●第4回高山市議会臨時会

損害賠償請求事件に関する和解案などを議決

8月27日に、平成22年第4回高山市議会臨時会が開かれました。

算についての2議案が、6時間を超える審議の末、賛成多数で可決されました。

る和解金の一般会計補正予算

その他、損害賠償の専決処分が4件報告されました。

臨時会では、損害賠償請求事件(原告・新興自動車株式会社、被告・高山市)に関する裁判所による和解案の受諾および和解金1億1900万円を支払うための補正予

○事件案件(1件)
▽損害賠償請求事件に関する和解条項(案)の受諾について
○予算案件(1件)
▽損害賠償請求事件に関する

問合先
議会事務局
35-3152